

(仮訳)

難民への人道支援に関するG7関連会合：議長声明
(2015年9月29日 於：ニューヨーク)

世界規模での避難民及び難民として保護を求める人々の急増に対応すべく、G7議長国の呼びかけにより、EU上級代表を含むG7外相とオーストリア、クウェート、オランダ、ノルウェー、カタール、サウジアラビア、スウェーデン、スイス、トルコ、アラブ首長国連邦の外相及び国際連合（UN）、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）、国連人道問題調整事務所（OCHA）、国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）、国連世界食糧計画（WFP）の長は2015年9月29日にニューヨークで会した。

世界は第二次世界大戦以降、最大の数の避難民に直面している。2015年の人道支援に対する財政的要請は200億米ドルという記録的な額となっている。しかしながら、人道支援のための利用可能な資源は十分ではない。

この人道危機の範囲と規模は、グローバルな対応能力を、通常の限界を遥かに超えるほど伸び切らせることとなった。苦難を軽減させ、迫害、飢え、抑圧、及び戦争からの自由を求める人々を保護するために、より多くの資金が緊急に必要である。国際社会のすべてのメンバーは、助けを心底求めている人々の嘆き及び良心への共通の呼びかけに答える必要がある。

G7関連外相会合の参加国・機関は、

- 避難民及び受け入れる人々に対する人道支援ニーズの急増に応えるため、国際社会の全てのメンバーに対して人道支援を早急に拡充するよう要請する。G7関連会合の参加国・機関は、難民及び避難民に対し18億ドル以上の追加支援にコミットしたことを表明する。
- 危機が悪化する中で、支援を提供するためには、国際法および人道に係る原則を尊重することはかつてないほど重要であり、また、難民及び避難民は関連する保護体制に従って尊厳を持って扱われなければならないことを確認する。
- 移民・難民の移動に関するハイレベル・サイドイベントや人道支援資金に関するハイレベル・パネルなど、より緊密な協力とより効果的な支援を目指す国連事務総長のイニシアティブを支持し、参加国・機関及びパネルメンバーに対し、支援をより効果的なものにするための大胆な提言を行うよう要請する。
- 避難民の根源的な原因に対処するにあたり、特に喫緊の政治的危機に対処する際には、国際社会としてより多く、かつ、より連携した努力が必要であることを強調する。

今回の呼びかけは、2016年5月にイスタンブールで行われる世界人道サミットに向けて、参加国・機関及び国際社会による難民及び避難民とその受け入れ国支援へのコミットメントを示すものである。

(了)